

# 産地戦略

実施期間 令和7年度

実施主体 にかほ市  
都道府県 秋田県  
対象地域 にかほ市  
対象品目 水稲



## 新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

## 目指す姿

にかほ市では令和6年度の水田耕地面積が2,745ha、うち有機米栽培面積が約12haで水田耕地面積の約0.4%となっている。国がみどりの食料システム戦略で目指す2050年の耕地面積に対する有機農業面積25%を達成するため、有機米栽培の作付け面積拡大が必須である。にかほ市では令和4年度に民間企業4社と環境保全型スマート農業による環境負荷の低い稲作の営農モデルを構築する協定を締結し、アイガモロボ等の活用を主眼においた有機米栽培の実証実験を続けてきた。今年度において産地マニュアルが完成し、来年度以降は有機米栽培を実施する農業者と面積の拡大、販路の確保に取り組み、環境への配慮を主とした高付加価値な米の生産による地域ブランド確立と農家所得の向上を目指す。

## 現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	浸種・播種 耕起	代播 田植		溝切 穂肥			収穫・乾燥・調整 秋耕起						
技術名			紙マルチ	手押除草機									
			水回り確認										

## グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	浸種・播種 耕起	代播 田植		溝切 ヒタヒタ期間 穂肥 深水管理			収穫・乾燥・調整 秋耕起						
技術名			アイガモロボ										
			乗用除草機										
			水位センサー・給水ゲート										

## グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	1,651	▶ 1,651	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	3	▶ 20	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	3	▶ 20	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	3	▶ 20	

## 環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

### 〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境省力	※秋田県特別栽培との比較 田植と同時に紙マルチ使用、紙マルチ融解後に手押し除草機を使用	▶ アイガモロボによる雑草抑草	雑草防除の省力化による有機農業の拡大 機械除草作業の回数削減
環境省力	※秋田県特別栽培との比較 田植と同時に紙マルチ使用、紙マルチ融解後に手押し除草機を使用	▶ 水田乗用除草機による雑草防除	雑草防除の省力化による有機農業の拡大 除草作業の作業時間削減
省力	ほ場見回りによる水位確認	▶ 水位センサー・自動給水ゲートによる深水管理	水管理の労働時間削減 雑草（ヒ工）の抑制

### 〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
省力	手押し除草機の作業回数削減（回）	<b>4</b>	▶ <b>0</b>	
省力	水管理の労働時間削減（hr/10a）	<b>3.8</b>	▶ <b>0.5</b>	秋田県作物別技術・経営指標の水稲（10ha規模）水管理時間3.8hr×目標削減率87%
環境	有機農業の取り組み面積拡大（ha）	<b>12</b>	▶ <b>20</b>	
			▶	
			▶	

\* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

\* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

### グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

本事業での取り組み内容や産地マニュアルについての説明会開催や個別の経営体訪問等を行い、グリーンな栽培体系の普及を図ると同時に、有機米の学校給食提供を通じて有機農産物の普及啓発を継続する。

### 関係者の役割

関係者名	米生産者	にかほ市	秋田県由利地域振興局	支援企業
役割	・グリーンな栽培体系の実践 ・環境に優しい技術・省力技術の導入を検討	・省力化機械の導入支援 ・グリーンな栽培体系の普及啓発	・有機米栽培技術紹介 ・グリーンな栽培マニュアルの見直し	・グリーンな栽培体系の技術指導

### その他